外来語の語義について—「サービス（する）」—

中　道　知　子

Meaning of Loanword —“saabisu (suru)”—

NAKAMICHI Tomoko

1　問題提起—外来語「サービス（する）」の多義性
2　「サービス（する）」の意味・用法—辞書の盲点
3　「サービス（する）」の多義
4　「サービス（する）」の基本義と派生義
5　まとめ

要旨：外来語「サービス（する）」は多義である。その多義の中で，〈用役，用務など，無形のものの供給〉という意味は，従来の大部分の国語辞書においては，経済学的な専門用語であるとされており一般的な語義として位置付けられていなかった。しかし，「サービス（する）」の現実の用法を観察し，当該語の多義的な意味相互の関係を考えるときに，この意味を１つの《基本義》として位置付けることが，当該語の総合的な意味記述には必要である。外来語「サービス（する）」が日本語の語彙の中でその意味を確立する際の現象として，原語に当たる“service”の持っている意味そのままに近い形で取り入れた意味・用法（基本義１）と日本語の語彙体系の隙間を埋めるような形で確立した意味・用法（基本義２）との２つがあり，それぞれが派生語を生ずる形で，当該語の多義構造が形成されていると考えるのが適切である。

1　問題提起—外来語「サービス（する）」の多義性

日本語に取り入れられた外来語の中には，日本語の語彙体系の穴を埋める形のものがある。国広1997には，「アドバイス」がそのような語としてとり上げられている。

> 日本語に英語から外来語が取り入れられる場合の理由として，日本語に適当な語がない，美化語として，などが考えられるが，「アドバイス」の場合，日本語の語彙体系の穴を埋める形になるからではないか，と考えられる。「忠告」には〈禁止的〉な含みがあり，「助言」

には〈公的〉という含みがあって，個人的に相手の行動をさらに助けるような助言をすること表わす語が欠けているので，〈私的に与える相手の意図に沿う助言〉を表わす語として「アドバイス」が導入されたのではないだろうか。「勧告」が〈公的。禁止的〉であることを考え合わせて，次のようにまとめられる。これは国広（1970，184ページ）に示したのと同じ表である。

	相手の意志にそむくこと	相手の利益になること
私的	忠告	アドバイス
公的	勧告	助言

（国広哲弥1997『理想の国語辞典』88ページ）

狩野2003では，「キャンセル（する）」「メッセージ」「サービス（する）」を，「アドバイス」と同じように位置付けられる語と考えている。狩野がとり上げた3語の中で，「サービス（する）」は「キャンセル（する）」「メッセージ」と比べると，多義的であり，そのことが語義上の特徴的な側面を作り出している。すなわち，「キャンセル（する）」も「メッセージ」も類義語という観点から見るとそれぞれただ一つの意味分野に属するのに対して，「サービス（する）」は，複数の意味分野に属しており，例えば，『類語国語辞典』では3分野に，『類語大辞典』では4分野に，現れている。この多義の各面において，「サービス（する）」は，類義の和語・漢語との意味の張り合いの中で，その位置を獲得していると見られる。

2 「サービス（する）」の意味・用法—辞書の盲点

「サービス（する）」について，現行国語辞書の語義記述を見ると，ひとつの盲点がある。この点について論じたい。

2—1 資料

「サービス（する）」について，現行国語辞書の語義記述は，下記のようになっている。なお，各辞書に見られる宗教用語や競技用語としての語義は，ここでは対象外である。

『三省堂国語辞典』第五版

① 奉仕。「—精神」「国民への—」

② 給仕・接待（のしかた）。「—がいい」「—料」

③ 商品を売ったあとで，無料または安い料金でおこなう，修理その他のせわ。「—カー・—部」

④ 〔商品に〕おまけをつけること。または，無料・割引などの形で，提供すること。

⑤ 飲食店などの，特別のもてなし。優遇。「—タイム・—料金〔＝割引料金〕・モーニング—」

⑥ サーブ。「強烈な—」

『岩波国語辞典』第六版

① 客に対するもてなし。接待。優遇。「—のよい旅館」

② 商売で，値引きしたり客の便宜を図ったりすること。「百円—しておきます」「アフター—」

③ 奉仕。「家庭—」

④ →サーブ。

『新明解国語辞典』第四版

① （無料）奉仕。〔狭義では，アフターサービスを指す。例，「—カー・—部」〕「—精神」

② 得意・来客が満足するような，心のこもった応対をすること。「—がいい・—に努める・行政—を低下させる・—盆・セルフ—」

③ 〔商店などで〕値段を安くしたり，景品を添えたりして売ること。また，景品として添える品。〔狭義では，飲食店が一定の・時間（時日）に行う廉価提供を指す。例，「モーニング—」〕「—セール・—品・—サイズ」

④ 〔テニスなどで〕サーブ。「—ライン」

⑤ 〔経済学で〕用役。

『大辞林』第二版

① 相手のために気を配って尽くすこと。「家庭—」「—精神」

② 品物を売るとき，客の便宜を図ったり値引きや景品をつけたりすること。「少し—しましょう」「出血大—」「アフター—」

③ サーブに同じ

④ 【経】物質的財貨を生産する労働以外の労働のこと。具体的には運輸・通信・教育などにかかわる労働で第三次産業に属する。用役。役務。

『広辞苑』第四版

① 奉仕。

② 給仕。接待。

③ 物質的生産過程以外で機能する労働。用役。用務。

④ （競技用語）⇒サーブ。

『日本国語大辞典』第二版（用例の出典は省略した）

① 物財を生産しないが，物財の運搬・配給を行ったり，金融・通信・教育・医務など物の形をとらないで，生産や消費に必要な役務を提供したりすること。交通業，商業，公務，自由業などに分けられる。「財貨やサービスが，市場で価格づけされたままの姿で国民所得を構成

し」

② 客に対する接し方。また，商売として客の気に入るように世話をすること。

㋑飲食店，役所の窓口，乗り物などにおける，客のあつかい方，応対，接待のしかた。「三越の食堂のサービスが良い」「あの女給はサービスが悪くて不愉快だ」「県営のがどうも料金が高いうえにサービスが滅茶だったんです」

㋺バー，キャバレーの女給や芸者などが客を喜ばせるためにいろいろ行なうこと。また，その行為。「陶酔どころか臈たけき淑女のサーヴィスに只管恐縮し」「あれ彼処にもある此処にもあるというカフエの卓前などに納まり，いい気持ちでサービスされるままに」「ほかのダンサアのするような下品なサービスが出来ないんだから」

㋩給仕すること。「けど，お茶ぐらいサーヴィスたらいうもんしとかんと」「奴僕（ぼーい）としてのわたしがサーヴィスをしようとする」

③ 個人的に，他の人のためにいろいろと尽くすこと。「家庭サービス」「あの男，何もかもほったらかしてかの女にサービスしたんださうだ」「『新宿へ出て，ビール飲みませんか』茂木はいくらも飲めはしない，多木へのサーヴィスのつもりなのだ」

④ 商売で，値段をひいたりおまけをつけたりして，客に利益を与えること。「皆さん，障子張りかえの時が来ました。サービスに上等の糊を進呈」「劇場は映画とあまり違はない値段でサーヴィスしてゐる」「客達に特別なつき出しものをサービスしてくれるマダム」

⑤ （キリスト教で）礼拝のこと。

⑥ 「サーブ」に同じ。

2—2 検討

これらの語義記述を比較したとき，大きな違いが一つある。それは，次の1，2のような用例の意味についてである。（用例は断りが無い限り，朝日新聞データベースから採取したものである）

1 理論的には，NTTがサービスする総合デジタル通信網（ISDN）の約30倍の速度が出るはずだが，現実にはそこまで行っていない。（2001年04月12日 朝刊 オピニオン1）

2 「周囲の協力があったからこそ，16年も続けてこられた。ライブハウスは音楽をサービスするだけではなく，一つの学校でなければいけないんです」（2001年09月13日 夕刊 エンタ）

この用例1，2の「サービスする」に含まれる意味要素は，〈用役，用務など，無形のものの供給〉ということになろう。しかし，上記に引用した辞典のうち『三省堂国語辞典』『岩波国語辞典』は，このような用例に該当する語釈が無い。『新明解国語辞典』『大辞林』においては経済学の専

門用語としての扱いである。『広辞苑』『日本国語大辞典』では，専門用語という限定ではなく，該当する語釈が記述されている。特に，『三省堂国語辞典』『岩波国語辞典』『新明解国語辞典』という小型国語辞典においての扱いに限ると，語釈が無いか，あるいは，別の単語による言い換えのみで用例が無いという扱いになっている。中型辞書である『大辞林』『広辞苑』では，語義説明がされている。

しかし，今，用例１，２のような用法が実際にどのくらい出現しているかを見るとき，辞書におけるこのような扱いには，かなりのずれを感じる。次に挙げるのは，昨年からさかのぼって５年間の新聞記事に表れた「サービスする」の用法についての分析である。(1998年１月１日～2002年12月31日，朝日新聞東京本社版，本紙のみ，朝刊，夕刊)

「サービスする」の用例総数は63例。そのうち，上記用例１，２のような，〈用役，用務の提供または供給〉という意味で使われた用例は16例あり，４分の１以上ということになる。その例を下記に挙げる。例示としては多数になるが，このような用法が現代日本語の日常的使用場面で頻出している様子を明示するために，敢えて掲げるものである。

３　地域通話補助に新基金　NTT再編後の料金格差防止　郵政省方針（1998年06月17日朝刊　１総）

都市部だけで営業する新電電が増え料金競争が激しさを増す中で，NTT分割後の地域会社は過疎地にもサービスする義務を持ち続けるため経営は厳しくなることが予想される。

４　運転手と客，どう接する？　ひととき「バスで暴言浴びた」に反響（1998年11月20日朝刊　１家）

橋場さんの投稿は，定期券の見せ方が悪いからと，バスの運転手に暴言を浴びせられたという内容だった。似た体験をつづって同情する人もいれば「どちらが偉いかという考え方に疑問」との声もあった。サービスする側，される側の立場はどうあるべきなのだろうか。

５　シドニーのパラ五輪に技術協力　IBMとフジゼロックス（1999年06月06日　朝刊　３スポ）

IBMは，目や手が不自由な選手がマイクにあて先とメッセージを吹き込むだけでＥメールを送れるシステムをサービスする。

６　インターネット，定額制だけでいいのか　原淳二郎（サイバー時評）(1999年08月25日朝刊　特集)

NTTは七月一日の分割・再編に当たって，ISDNを月額一万円の定額でサービスする構想を打ち出したが，それでも高いと不評である。

７　進む？進まぬ？霞が関のリストラ　10月に６特殊法人が統合（1999年09月25日　夕刊夕刊経済特集）

ジェトロも一緒に移転という動きはない。ジェトロの山田康博総務課長は「外国の大使館や企業に情報サービスする機関として，幕張はとても無理」と説明する。

8　NTTの壁，やっと穴　小林博昭さん（eぱーそん）(2000年06月09日　夕刊　デジタル2)

お客さんにADSL接続のサービスするのは当社なのだから，加入者から当社が料金をとって，NTTに接続料を払うのが筋だと思う。

9　デジタルラジオ放送向けの新社設立へ　イギリスの大手4社（2000年07月26日　朝刊3経済)

英国のキャピタルラジオなどラジオ大手四社は二十五日，デジタルラジオ放送に向けて共同出資会社「MXR」を設立すると発表した。デジタル専用の音楽番組を放送するほか，四社の既存のアナログ番組も一部サービスするという。

10　インターネット放送　すぐ開局できる魅力　江崎浩（21世紀序奏）(2000年08月23日　夕刊　水曜科学)

みんなが放送局になって，好きな人にだけサービスする。非常にパーソナリティーの強い放送局がどんどん出てくると思います。それがいわゆる放送と違う意味でのインターネット放送ということです。

11　民間参入，質の確保課題（！介護保険1年：下）(2001年03月31日　朝刊　オピニオン1)

しかし，訪問介護の利用が単価の安い家事援助に集まるなどして，企業は苦戦を強いられた。サービスする家庭から次の家庭への移動に時間やコストのかかる在宅サービスの限界を感じた企業は「施設的なサービス」への転換をさぐり始めた。

12（用例1と同一）　コンセントに差すだけ　実証進む電力線インターネット（2001年04月12日　朝刊　オピニオン1)

理論的には，NTTがサービスする総合デジタル通信網（ISDN）の約30倍の速度が出るはずだが，現実にはそこまで行っていない。

13　プレゼント　マリオン（2001年06月14日　夕刊　マリオン1)

北海道産の新鮮なカニを宅配サービスする「カニの福ちゃん」(電話0155・56・6128）が，タラバガニ（1匹）と毛ガニ（4匹）のセット（写真，1万2000円相当）を8人に

14　ITと芸術・文化を融合　教育改革の成功で躍進（アイルランド発）(2001年08月21日　朝刊　朝刊文化)

オーストラリアなどに囚人として送られたアイルランド人の記録や移民船の乗船名簿を有料で検索サービスする。

15（用例2と同一）　THE　LIVE　STATION　ロックの登竜門（エンタ場）(2001年09月13日　夕刊　エンタ)

「周囲の協力があったからこそ，16年も続けてこられた。ライブハウスは音楽をサービスするだけではなく，一つの学校でなければいけないんです」

16　高齢者の足「介護タクシー」報酬切り下げ案浮上（点検　介護保険）(2002年06月26日　朝刊　くらし)

訪問介護事業の報酬単価は，ヘルパーが家庭を訪ねてオムツ交換など幅広くサービスする前提で決められている。

17　健保，生き残り策探る　急激な財政悪化，相次ぐ解散（2002年10月17日　朝刊　くらし)

また，健保の加入者は必ずしも会社がある自治体に住んでおらず，自治体が行政区域外の加入者のために何かをすれば，区域外居住者へサービスすることになる。

18　アイデアから運営まで住民で創る公共サービス（beReport)（2002年12月07日　朝刊　be 週末ｂ３）

「行政が御用聞きし，税金を集めてサービスする時代は終わり。『自分たちの町をこういうふうにしていきたい』と住民が声を上げ，担ってもらえるメニューを一緒に考えていくことが，自治体には必要だ」と強調する。

これらの用法は，掲載紙面の性質から考えても，決して経済の専門用語という扱いではない。そのような用法の意味を扱っていない辞書は，満足すべき語釈を備えているとはいえないだろうし，また，そもそもは経済学の専門用語であったとしても，上記用例に見られるように，その用法が一般化しているといってよい現在，単に専門用語であるという扱いだけで用例を載せずに済ませているのは不十分であると思える。

3　「サービス（する)」の多義

3―1　「役立つ」との比較

「サービス（する)」は多義である。その一つの意味が２節で述べた〈用役，用務の提供または供給〉である。３節では，この語のその他の意味について，日本語の語彙体系における位置という観点から考えることにする。

ここで，『類語大辞典』において「サービス（する)」が次の４つの項目において類語として収録されていることが参考になる。その項目は，次の４つである。

1　構う。2　尽くす。　3　役立つ。便利なこと。　4　安くする。

このうち，「3　役立つ。便利なこと。」については，２節で指摘した意味に該当するといえる。この意味の類語として考えられる語としては，「便宜（をはかる)」「便を提供する」などがあろう。

しかし，「便宜（をはかる）」という表現には，〈特別にとりはからう〉という意味がある点で，不適当である。当該の意味･用法の例としては，前出の用例１を想起されたいが，その「NTTがサービスする総合デジタル通信網」という表現は，まったく中立的な意味であり，そのことこそが，外来語「サービス（する）」が取り入れられた理由になる。

3―2 「尽くす，奉仕する」との比較

次に，「２　尽くす」に分類されている意味について考える。この場合の類語は「尽くす」「奉仕する」が考えられる。まず，「尽くす」との比較をする。次の用例19，20の「尽くす」を「サービス（する）」に置き換えると不自然であることは，21，22を考えると明らかである。

19　キューバ革命の英雄ゲバラが強調したのは，人間としてのモラルだった。他人を思いやり社会を良くするために献身的に尽くす「新しい人間」にだれもがなろうと訴えた。（2003年02月14日　朝刊　２外報）

20　アフガン難民の苦しみ共感　イランのマジディ監督「少女の髪どめ」

排他的な民族意識を持っていたラティフが，自分のIDカードを売ってまでアフガンの少女に尽くす。得るものは何ひとつない。（2003年04月19日　夕刊　芸能１）

21＊他人を思いやり社会を良くするために献身的にサービスする

22＊自分のIDカードを売ってまでアフガンの少女にサービスする

「尽くす」には，〈自己犠牲的〉という含みがあるが「サービス（する）」にはない。

次に，「奉仕（する）」の用例について考えると，23の「奉仕する」を「「サービス（する）」に置き換えると不自然であることは，24を考えると明らかである。

23　米の威信，回復に全力　大統領，国民の団結強調　シャトル墜落事故

搭乗していた男女７人は全人類に奉仕する大きな危険を引き受けた。（2003年02月03日　朝刊　１外報）

24＊全人類にサービスする大きな危険を引き受けた。

「奉仕（する）」にも〈自己犠牲的〉という含みがある。

つまり，「サービス（する）」は，〈自己犠牲的〉という要素をもたない次のような例文において，代替する語をもたない。

25　たまの休日，疲れてごろ寝の父親にサービスしてくれるようなやさしい娘を持ちたいというのが，父親族の夢だろう。

この点で，「サービス（する）」は，外来語として定着したのだと推測される。

3―3 「構う」との比較―「接待（する）」も参考に

『類語大辞典』において，「サービス（する）」は，「構う」という小分類に入っている。この辞書で，小分類というのは「より意味の近い語の集まりである」と定義されている。類義語と解してよいであろう。さらに，この小分類の中で意味・用法の近い語を集めて小見出しのもとにまとめてあるのだが，「サービス（する）」が分類されている小見出しは，「サービスする」となってい

る。このこと自体が，「サービス（する）」という語が，日本語の語彙の中で他に置き換えることのできない位置を占めているということを物語っているといえるのではないだろうか。

また，ここで，他の辞書の語釈を参考にして，「サービス（する）」の類義語として考えられる語を探すと，「接待（する）」「給仕（する）」「もてなす」などが挙げられる。次の例文26，27において，これらの類義語を入れ替えるとどうだろうか。

26　あの旅館はなかなかサービスがいい。

27　人によって値引きしたりしなかったりというのは，いっさいやめろと言ってるんです。すべてのお客様に平等にサービスするという考えなんです。

（1988年11月13日　朝刊　夕刊経済特集）

「給仕（する）」は〈飲食の世話〉という意味がまず第一に感じられる点で，意味の制限が強い語である。「もてなす（もてなし）」は〈個人的な応対〉という意味が強い。「接待（する）」は〈公的あるいは仕事としての応対〉という意味が強い。これらの意味上の制限が薄いのが，「サービス（する）」であり，それがこの語を外来語として定着させたのではないかと思える。

最後に「4　安くすること」についてであるが，この意味は，語用論的な位置付けがもっともふさわしい意味であるという観点から，次節で「サービス（する）」の意義素を考察する際に論ずることにする。

4　「サービス（する）」の基本義と派生義

4—1　基本義

3節までの検討を経て，「サービス（する）」の意義素について，筆者は次のように言えると考える。

まず，2節でとり上げた〈用役，用務の提供または供給〉という意義素がある。これは，「サービス（する）」の多義の中では一番独立的な意味といえる。これを，《基本義1》とする。

《基本義1：用役，用務の提供または供給》

次に，3節—2と3節—3でとり上げた意味は，いくつかの意義素に分かれるというよりはむしろ一つの意義素としてまとめるのが合理的ではないだろうか。

次に挙げるのは，3節—2と3節—3でいちおう分けた意味が，むしろ不可分な形であらわれていると解釈したほうが妥当だと思われる用例である。

28　民主党の岡田克也政調会長は16日，ワシントン市内の米戦略国際問題研究所で講演した際の質疑応答で，7月の参院選で沖縄県入りした菅直人幹事長が「民主党が政権を取れば，米海兵隊の沖縄からの撤退を要求する」と発言したことについて，「選挙が厳しく，ぜひ勝ちたいという気持ちが発言につながった。菅さんはそういうときにサービスする傾向がある。党の正式な見解ではない」と否定した。（2001年08月17日　夕刊　2総合）

用例28の「サービスする」は，「尽くす」「奉仕する」「接待する」「もてなす」などと言い換えるのは不適当である。この用例での意味は，要は〈講演の聴衆が喜ぶようなことを言う〉ということである。それは，もう少し一般化するなら，〈相手が満足するようなやりかたで接する（こと）〉である。この意味を《基本義２》とする。

《基本義２：相手が満足するようなやりかたで接する（こと）》

この《基本義２》に含まれる意味要素（＝意義特徴）に対応する現実の要素の違いによって生じる《派生義》と先の《基本義１》によって，「サービス（する）」の多義が構成される。

意義特徴に対応する現実の要素の違いには，いろいろなものがある。〈相手〉という要素には，商売上の客，個人的な客，家族，個人としての対人関係の相手など。それぞれの〈相手〉の違いに応じて，〈満足するようなやりかた〉という要素にもいろいろある。商売上の客に対してなら，金銭上の得・利益になるもの，個人的な客に対してなら対人関係上良好な効果があるもの，家族に対してなら，愛情面・精神面で望ましいものが相当する，など。

４―２　基本義１からの派生義

次の用例29のような意味は，《基本義１：用役，用務の提供または供給》からの派生義と考えられる。

29　若者の輪，ラーメン屋台に　ベルリン（アフター５）

「めんをゆでて盛りつけ，客にサービスする。屋台にはすべてがある。ドイツにはこんなにまとまった小空間はない。おいしい食べ物を生み出す屋台は芸術だ」。（2002年03月09日　夕刊　２総合）

29の「サービスする」は，基本義１における〈提供または供給〉する対象物が具体物になったものである。次の30も類例である。

30　「日式」本場へも逆上陸（餃子五話：その５）

チーズにみそ，納豆，ヨーグルト……。ちょっと変わった餃子（ギョーザ）を売り物にする店が，今は珍しくない。あんを包む形やお客さんにサービスする方法も，土地によって違いがある。静岡・浜松ではモヤシを一緒に出す店が多い。（2002年12月20日　朝刊　オピニオン１）

そこで，この派生義を次のように記述する。

《派生義：飲食店で客に対して飲食の世話をする》

４―３　基本義２からの派生義

次の用例31，32のようなものは，一般に国語辞書では，たとえば〈商売で，値引きしたり景品

をつけたりすること〉として扱われている。

31　宿泊プレゼント　マリオン

2月末までオープン記念プランを実施中。夕食時，2人につき1匹，伊勢エビの刺し身をサービスする。(2001年01月25日　夕刊　マリオン1)

32「歴史の真ん中」実感　南北宣言でソウル市民に興奮の余韻

ロッテ百貨店は食品売り場で「南北統一物産展」を開催。最終日のこの日は，酒や干物など北朝鮮産品を買った人に冷めんの食券までサービスするという。(2000年06月15日　夕刊　1社会)

このような用法は，《基本義2：相手が満足するようなやりかたで接する（こと)》からの，場面の特定化による，認知意味論の見方で言うところの具体化の認知プロセスの一種と考え，派生義として次のように記述する。

《派生義：接客業において，客の経済的利益になるような便宜を図る》

5　まとめ

以上の検討から，「サービス（する)」の意義素は下記のようになる。

《基本義1：用役，用務の提供または供給》

《派生義1（＝基本義1からの派生義)：飲食店で客に対して飲食の世話をする》

《基本義2：相手が満足するようなやりかたで接する（こと)》

《派生義2（＝基本義2からの派生義)：接客業において，客の経済的利益になるような便宜を図る》

ここで本稿が主張することは，従来の国語辞書の大多数が経済学の専門用語として扱っていた意味を，「サービス（する)」という語の基本義（本稿の《基本義1》）として位置付け，従来の国語辞書において立項されている語義（例えば，下記の用例33）をその派生義と解することが適当だということである。

33　ボサノバやジャズの生演奏を聴きながら，七面鳥のローストをワゴンでサービスするクリスマススペシャルディナーを。(1999年12月17日　夕刊　MR 2)

考えるに，確かにもとは，〈用役，用務など，無形のものの供給〉という意味は，専門的なものであったと思われる。この意味は，外来語「サービス（する)」の原語に当たる英語の“service”の意味がそのまま専門分野において取り入れられたものであろう。それが，専門分野の意味にとどまらずに一般的な日本語として使用分野を拡大していったものと考えられる。そういう事情をうかがわせるのが，次に挙げる数字である。次に上げるデータは，「行政サービス」「医療サービ

ス」という語が1984年～2002年の間に「朝日新聞」の朝夕刊，各地方版に出現した件数を，総件数と，年度別に見たものである。

「行政サービス」出現回数　　1984年～2002年　総件数：2874件

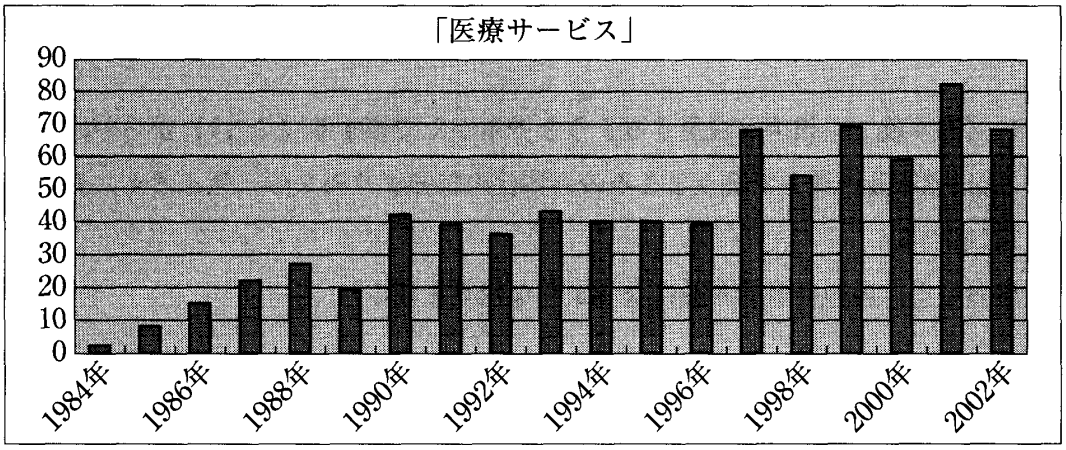
1984年：11件／1985年：16件／1986年：16件／1987年：14件

1988年：74件／1989年：64件／1990年：61件／1991年：72件

1992年：98件／1993年：78件／1994年：95件／1995年：120件

1996年：139件／1997年：254件／1998年：236件／1999年：259件

2000年：365件／2001年：417件／2002年：485件



「医療サービス」出現回数　　1984年～2002年　総件数：772件

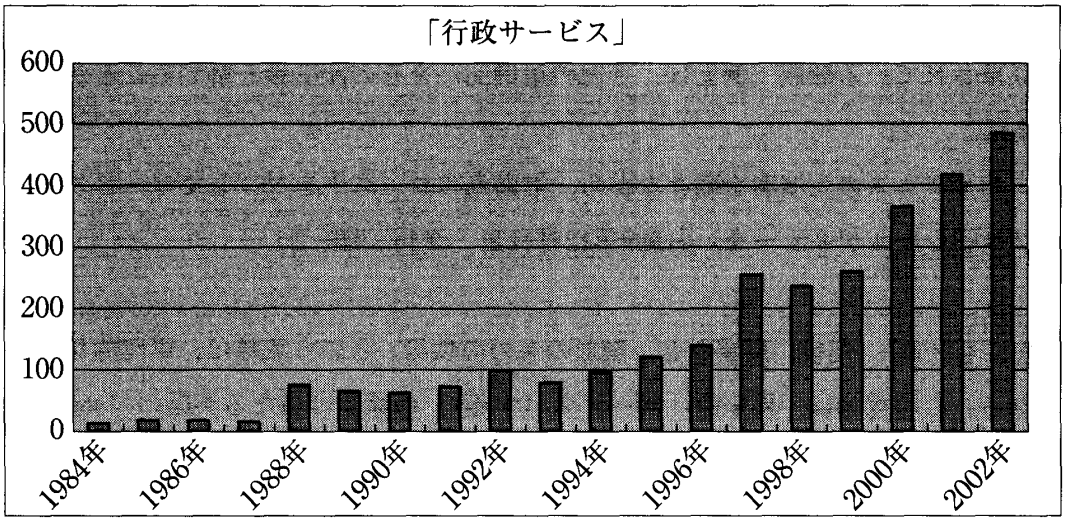
1984年：２件／1985年：８件／1986年：15件／1987年：22件

1988年：27件／1989年：19件／1990年：42件／1991年：39件

1992年：36件／1993年：43件／1994年：40件／1995年：40件

1996年：39件／1997年：68件／1998年：54件／1999年：69件

2000年：59件／2001年：82件／2002年：68件



「行政サービス」「医療サービス」という語における「サービス」の意味は，もちろん〈用役，

用務など，無形のものの供給〉に該当する。上記の数字は，「サービス」がこのような意味で用いられることが，1988年～1990年ごろから急激に増加してきたことを示している。これは，「サービス」の〈用役，用務など，無形のものの供給〉という意味が，経済の専門用語としてではなく一般的な意味として日本語の中に入り込んでその位置を獲得していったことを示していると考えられる。和製英語の「アフターサービス」はそのような背景のもとに生まれた語かと推測する。朝日新聞記事におけるこの語の出現は，1984年から1986年はゼロで，初出は1987年７月19日である。

一方，基本義２は，本稿３節で論じたように，従来の日本語の語彙の隙間を埋めるような形で定着した用法であろう。そして，それが，特に〈おまけ，値引き〉という形で固定化して派生義２を生んだのであり，ここに，２つの基本義の流れが見られるのが，現代日本語における「サービス（する）」の位置だと考える。

参考文献

国広哲弥（1997）『理想の国語辞典』大修館

狩野智子（2003）「日本語の語彙体系の穴を埋める外来語」『卒業論文集2002年度』大東文化大学日本語学科中道ゼミ

『三省堂国語辞典』第五版　三省堂

『新明解国語辞典』第四版　三省堂

『岩波国語辞典』第六版　岩波書店

『大辞林』第二版　三省堂

『広辞苑』第四版　岩波書店

『日本国語大辞典』第二版　小学館

『類語国語辞典』　角川書店

『類語大辞典』　大修館

（2003年９月25日受理）